

家庭学習の手引き



令和4年4月

横芝光町教育委員会

【おうちの方へ】

1 家庭学習の手引きについて

小・中学校での学習は、子どもたちが将来社会人として自立するための基礎となる「学ぶ力」を育てます。学校では、そのために必要となる基礎学力を身につけ、高めるための努力をしていますが、家庭との協力によって、その成果を何倍にも高めることができます。

「学ぶ力」とは、自分で意欲や疑問をもちながら、知識を生かし、見通しをもって考える力のことを言います。家庭学習を毎日続けることで、しっかりとした考え方や集中力だけでなく、学習習慣が身につく、困難なことに出会っても逃げないで積極的にチャレンジしようとする力が備わります。家庭学習の定着は、子どもの主体性や自律性を伸ばし、夢をふくらませ、目標をもって人生を心豊かに生きる力となって、将来への大きな財産となるのです。

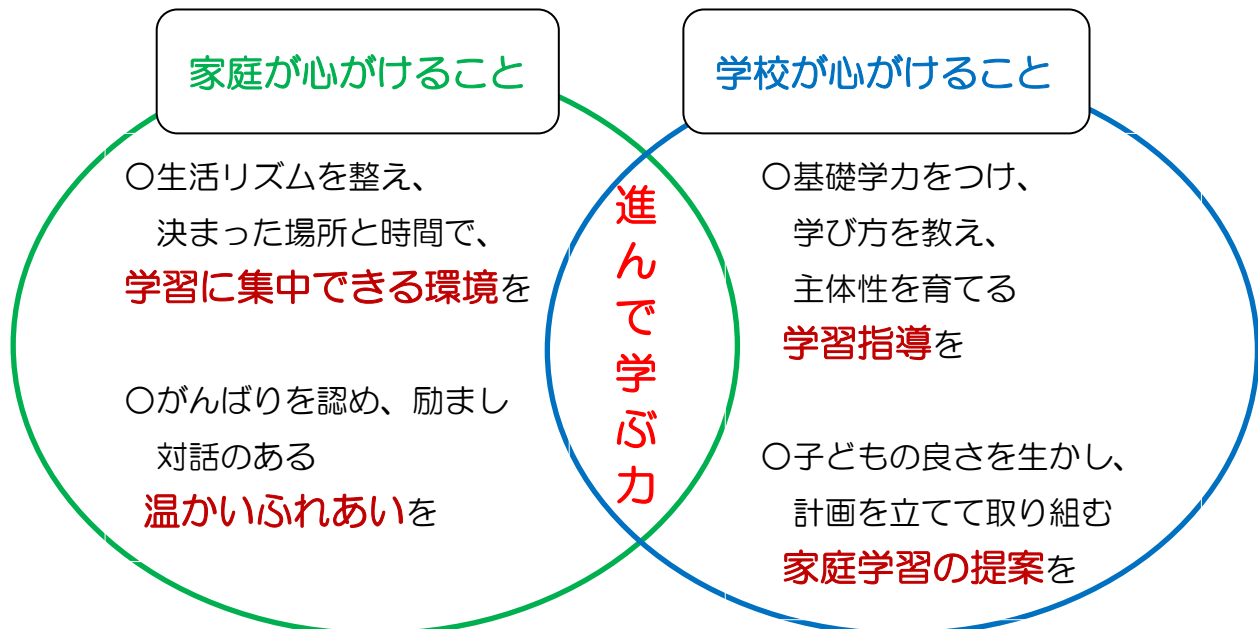
家庭学習充実のために、この冊子を十分に活用して欲しいと思います。



2 家庭を「学ぶ力」を育む環境に

「学ぶ力」は、子どもが一番安心できる家庭で、安定した生活リズムの中で、毎日学習を積み重ねることで育ちます。また、子どもは、家庭に認められ励まされることで、「見守られている」という安心感の中に、「頑張ったよかった」という達成感を抱き、自分らしさや努力をすることに自信をもつようになります。

学校と家庭とが協力し合って、子どもの「学ぶ力」を育てていきましょう。



○家庭（保護者）と学校（教師）とが、家庭学習の習慣化を目指して協力し合うことが、子どもの心を耕し、「学ぶ力」を育てます。

○子どもの家庭学習が充実するよう、学びの環境を整え、家族の温かいふれあいを増やしていきましょう。

3 「家庭学習」を習慣付けるための3つのポイント



ポイント1 時間を大切にすることを育てましょう

○時間を大切にすることで、計画性が養われます。

子どもには、「やりたいこと」、「やるべきこと」、「やらなければならないこと」がたくさんあって、子どもは子どもなりに、毎日時間に追われているのです。

しかし、自分の時間をどう使ったらよいのかわからず、「やりたいこと」が優先され、「やるべきこと」が後回しになり、つい携帯電話やメール、ゲーム等に時間を費やしてしまうなど、時間を無駄に過ごしてしまいがちです。

時間の使い方を本人まかせにしないで、自主性を尊重しながらも、家庭のスケジュールを決めて学習時間を確保するなど、親がある程度管理をしてあげることが必要です。

ポイント2 認めて・褒めて・励まして・やる気を育てましょう

○子どもとのコミュニケーションの中に、やる気を引き出すチャンスがたくさんあります。

学習に対する意欲は、「できた!」「わかった!」という子どもの達成感と、「すごいね」「よくできたね」という褒め言葉や認めてあげる言葉によって高まります。

叱られてやる気になることは少ないと思います。子どもの気持ちに寄り添って、「認めて・褒めて・励まして」あげることが、やる気を育てることにつながります。

ポイント3 読書や体験を通して、子どもの学びを深めましょう

○「読書好き」は「学び上手」につながります。

学力を高める上で、即効性がないかのように見える「読書」。しかし、「読書」によって「考える習慣」を身に付けておかないと、土台のないところに家を建てるのと同じで、学力は向上しません。

○体験は心をたがやし、豊かな感性を育みます。

体験は人を磨きます。体験することで得られる感動や喜びは、子どもたちを次の興味へと導いていきます。感性が鋭いこの時期だからこそ「見て、ふれて、確かめる」体験を積むことは、とても大切なことです。

小学校3・4年生

自ら学習に向かう習慣を身に付ける

3・4年生では

自立心が芽生えてくるとともに、自分でやろうとすることが多くなり、「やる気」や「根気」が育つ時期です。

自己主張や反抗が少しずつ見られるようになりますが、子どもの思いがけない言動も子どもの成長ととらえて、まずはよく「聴く」ことを心がけましょう。家族の温かい声かけで、学習への興味・関心を高め、学習を大切に思う意識を育てましょう。

学習時間のめやす

30~40分

10分×学年

学習の特徴

- 総合的な学習の時間や社会、理科の学習が始まり、学習する内容も大きく広がります。
- 国語辞典や漢字辞典、地図帳などの使い方を学び、自分で調べる学習をすることが多くなり、自学自習の基礎を学びます。
- 算数では、四則計算（ $+$ ・ $-$ ・ \times ・ \div ）の基礎・基本を徹底して学ぶとともに、分数や小数など少しずつ抽象的な内容も学ぶようになります。

家庭での援助

- 家庭の温かい助言や励ましの言葉でやる気を起こしたり、宿題や持ち物を点検したりするなどの手助けが必要です。徐々に自分でできるように支援していきましょう。
- 自分から机に向かう姿勢を育て、集中して取り組む習慣をつけることが重要です。
- 学習をする前に、学習する場所の整理整頓を行い、自分で今日の宿題を確認させ、必ず最後までやらせましょう。学校からのお便りなどを親に手渡す習慣を付けましょう。
- 社会や理科で学習する地域社会の文化や産業、自然などに触れる体験をさせましょう。

家庭学習の内容

国語

(音読)

- 毎日音読をする習慣を身に付けましょう。
- 文章を正確に読むことができるようにしましょう。
- 会話文は、気持ちを込めて読むことができるようにしましょう。

(漢字)

- 正しい書き順で、正確に文字が書けるようにしましょう。
- 「とめ」「はね」「はらい」に気をつけて、丁寧に繰り返し練習しましょう。

(言葉)

- 国語辞典や漢字辞典を手元に置き、使い方に慣れるようにしましょう。
- 日記は題名や会話文を工夫して書き、読み直す習慣を身に付けましょう。

(読書・新聞・図鑑)

- いろいろな分野の本に親しむ機会を大切に、読書で興味や関心、感動の幅を広げましょう。

算数

- かけ算やわり算など、正しい計算手順が身につくよう、毎日練習をしましょう。
- 筆算は位をそろえて書き、手順を確かめながら計算練習をしましょう。
- 三角定規や分度器、コンパスなどが正確に操作できるように、繰り返し練習しましょう。
- 文章題は声に出して問題を読み、大切なところには下線を引き、絵や図に描きながら解いていきましょう。

その他

- リコーダーの練習やなわとびの練習などに積極的に取り組みましょう。
- 宿題以外の自主的な学習に積極的に取り組み、家庭学習の内容を徐々に高めていきましょう。
- 学習の素地になるような、または学校での学習を活用できるような生活経験（ニュースや天気予報の話題、家の手伝い、買い物、地域の行事への参加等）を大事にしましょう。
- 休日には、親子でパンフレットや地図などを参考に、地域再発見探検などを楽しみ、町をステージに実践的な学習に取り組みましょう。
- 横芝光町から千葉県全体にも話題を広げ、歴史や文化、産業に興味をもたせましょう。
- タブレットを使った学習にも積極的に取り組み、『eライブラリー』など使って復習しましょう。(学校の使い方のきまりはしっかりと守ること。)



こんなべんきょうをしよう

(3・4年生)

- 1 はじめに宿題をします。
わからないところは、お家の人や先生に教えてもらいましょう。
- 2 つづいて、次のような学習をしましょう。



べんきょう時間の
めやす

30～40分

【国語】(れい)

おすすめ	学習の仕方
1 教科書を読む。	○今、学習をしているところを、1日1回以上音読します。
2 漢字を練習する。	【教科書やドリルを使って】 ①漢字のところを、3回読みます。 ②ひらがなのところを見て、ノートに漢字に直して書きます。 ③もう一度漢字のところを見て、答え合わせをします。 ④まちがえていた字は、ノートに1行書きます。 ○習った漢字を使って短文を作り、ノートに書きます。 ○部首や画数を調べて、ノートに書きます。
3 意味調べをする。	①語句をうつします。 ②じてんで意味を調べます。 ③れい文をうつします。 ④調べた語句を使って短文を作り、ノートに書きます。

☆1～3がおわったらつぎにチャレンジ！

○大事なことをまとめる。	○学習したことの中で大事なことを、自分なりにノートに工夫してまとめてみます。
○視写をする。	○教科書の文を、ていねいにノートにうつします。 ※ (、) や (。)、(「 」)、マスの使い方に気をつけてうつします。
○日記を書く。	○題や月日を書きます。 ○できごとや気持ちを、わかりやすく書きます。 ○習った漢字や語句を使って書きます。 ○会話の「 」や、だんらくに気をつけて書きます。
○読書をする。	○いろいろな本を読みます。図書館でかりてもいいですね。
○タブレットをつかう。	○「イーライブラリー」をつかってみよう。くり返し問題をやってみましょう。

【算数】(れい)

1 ふく習をする。	①学校で学習した問題を、もう一度ノートにやってみます。 ※文章問題は、問題文をうつします。 ②算数ノートを見て、答え合わせをします。 ③まちがえたときは、もう一度やってみます。
2 計算の練習をする。	【教科書やドリルを使って】 ①番号を書き、問題をノートにうつして書きます。 ②式や答えを書きます。(定規を使ってひっ算も書きます。) ③答え合わせをします。 ④まちがえた問題は、お家の人や先生に聞いて書き直します。 ○時間を計って、記ろくしていきます。
3 予習をする。	○次に学習するところを読みます。
○タブレットをつかう。	○「イーライブラリー」をつかってみよう。くり返し問題をやってみましょう。

【社会】(れい)

1 ふく習をする。	①学校で学習をしたところを、もう一度自分なりにノートに工夫してまとめてみます。 ②社会のノートを見て、まとめたことがまちがっていないかたしかめます。
○調べ学習をする。	○学習したことと関係のあることについて、本やインターネットなどで調べて書きます。 ○じっさいにその場所に行ってみ学したり、インタビューしたりしたことをまとめて書きます。 ○調べた感そうやぎもんなども書きます。 ○タブレットをつかって、調べ学習をしてみよう。

【理科】(れい)

1 ふく習をする。	①学校で学習をしたところを、もう一度自分なりにノートに工夫してまとめてみます。 ②理科のノートを見て、まとめたことがまちがっていないかたしかめます。
○調べ学習をする。	○学習したことと関係のあることについて、本やインターネットなどで調べて書きます。 ○学習したことと関係のある実けんやかんさつをして、けっかや記ろくを書きます。 ○調べた感そうやぎもんなども書きます。 ○タブレットをつかって、調べ学習をしてみよう。

横芝光町立 学校

年 組 番 氏名